

第14回硫黄島関係省庁会議
寺田内閣総理大臣補佐官 総括

- 硫黄島に係る遺骨収集帰還推進に関する関係省庁会議を開催し、昨年度における硫黄島遺骨収集帰還の取組状況等を踏まえ、本日、4月28日、今年度の実施計画等について決定しました。
- 昨年度の硫黄島における遺骨収容については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、遺骨収集団の派遣は4回計画されていたところ、2回となりましたが、24柱の御遺骨を収容することができました。
- このほか、滑走路地区において、令和元年度から行っている地下20メートル程度までの面的ボーリング調査により、新たに4箇所のおぼろげと思われる空洞が確認されました。今後、構造解析や入壕方法の調査、検討を進めます。
- 今年度の実施計画においては、引き続き、遺骨収容を実施し、滑走路地区においては滑走路東側の面的なボーリング調査を行い、滑走路下の壕の確認を行います。
- 今後とも遺骨収集推進法の趣旨を踏まえ、本日決定した令和4年度実施計画に沿って、引き続き、関係省庁一体となって、しっかりと取り組んでいきます。